【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成23年10月13日(2011.10.13)

【公開番号】特開2011-118471(P2011-118471A)
【公開日】平成23年6月16日(2011.6.16)
【年通号数】公開・登録公報2011-024
【出願番号】特願2009-272781(P2009-272781)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/02　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/048　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　17/21　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/02　３６０Ｂ
Ｇ０６Ｆ　3/048　６１０
Ｇ０６Ｆ　3/02　３６０Ｅ
Ｇ０６Ｆ　17/21　５９２Ａ
Ｇ０６Ｆ　17/21　５６４Ｐ

【手続補正書】
【提出日】平成23年8月30日(2011.8.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
コンピュータを、
数値の入力を受け付け、入力された数値を一桁入力される度に取得する取得手段、
前記数値が一桁入力される毎に、前記入力された数値の数値情報に基づいて、（ｉ）アラビア数字と、アラビア数字でない文字又は文字列と、からなる文字列、及び（ii）アラビア数字でない文字又は文字列のみ、の少なくとも何れか一方で表される文字情報であって、当該数値と同じ値を表す文字情報である数値表示文字情報を生成する生成手段、及び、
前記数値表示文字情報が生成される毎に、当該数値表示文字情報で表される文字又は文字列を表示する表示領域の表示を更新させる表示制御手段、
として機能させることを特徴とする入力数値表示プログラム。
【請求項２】
請求項１に記載の入力数値表示プログラムであって、
前記生成手段は、前記アラビア数字と、アラビア数字でない文字又は文字列とからなる文字列を示す数値表示文字情報を生成する場合において、前記入力された数値の数値情報に基づいて、前記入力された数値における少なくとも何れかの位を示す、アラビア数字でない文字又は文字列と、当該位における値を示すアラビア数字とからなる文字列を示す数値表示文字情報を生成することを特徴とする入力数値表示プログラム。
【請求項３】
請求項２に記載の入力数値表示プログラムであって、
前記コンピュータを、
ユーザの使用言語を検出し、当該使用言語を前記生成手段において生成に用いる言語として設定する言語設定手段として更に機能させ、

前記生成手段は、前記位を示す文字又は文字列として、前記設定された使用言語によって当該位を示す文字又は文字列を用いることを特徴とする入力数値表示プログラム。
【請求項４】
請求項３に記載の入力数値表示プログラムであって、
前記生成手段は、前記使用言語として日本語が設定されている場合に、前記位を示す文字又は文字列として、当該位を示す漢字を用いることを特徴とする入力数値表示プログラム。
【請求項５】
請求項１に記載の入力数値表示プログラムであって、
前記コンピュータを、
ユーザの使用言語を検出し、当該使用言語を前記生成手段において生成に用いる言語として設定する言語設定手段として更に機能させ、
前記生成手段は、アラビア数字でない文字又は文字列のみで表される文字又は文字列を示す数値表示文字情報を生成する場合において、前記入力された数値の数値情報に基づいて、前記設定された使用言語によって当該入力された数値を示す、アラビア数字でない文字又は文字列のみで表される文字又は文字列を示す数値表示文字情報を生成することを特徴とする入力数値表示プログラム。
【請求項６】
請求項５に記載の入力数値表示プログラムであって、
前記生成手段は、前記使用言語として日本語が設定されている場合に、前記入力された数値を表す文字又は文字列として、漢字によって表される文字又は文字列を用いることを特徴とする入力数値表示プログラム。
【請求項７】
請求項１乃至請求項６の何れか一項に記載の入力数値表示プログラムであって、
前記数値は、商品の価格、個数、及び重量の少なくとも何れか一つを示すことを特徴とする入力数値表示プログラム。
【請求項８】
請求項１乃至請求項７の何れか一項に記載の入力数値表示プログラムであって、
前記取得手段は、ユーザによる数値を入力する操作を検出することで、数値の入力を受け付け、受け付けられた数値を取得することを特徴とする入力数値表示プログラム。
【請求項９】
数値の入力を受け付け、入力された数値を一桁入力される度に取得する取得手段と、
前記数値が一桁入力される毎に、前記入力された数値を表すアラビア数字を表示する第１表示領域の表示を更新させる第１表示制御手段と、
前記数値が一桁入力される毎に、前記入力された数値の数値情報に基づいて、（ｉ）アラビア数字と、アラビア数字でない文字又は文字列と、からなる文字列、及び（ｉｉ）アラビア数字でない文字又は文字列のみ、の少なくとも何れか一方で表される文字又は文字列であって、当該数値と同じ値を表す文字又は文字列を示す数値表示文字情報を生成する生成手段と、
前記数値表示文字情報が生成される毎に、当該数値表示文字情報が示す文字又は文字列を表示する第２表示領域の表示を更新させる第２表示制御手段と、
を備えることを特徴とする入力数値表示装置。
【請求項１０】
数値の入力を受け付け、入力された数値を取得する入力数値表示装置が、電気通信回線網を介して接続される入力数値表示用サーバ装置であって、
前記入力数値表示装置から、前記数値が一桁入力される毎に当該入力数値表示装置が取得した前記数値を示す数値情報を受信する受信手段と、
前記受信手段が数値情報を受信する毎に、前記数値情報が示す数値に基づいて、（ｉ）アラビア数字と、アラビア数字でない文字又は文字列と、からなる文字列、及び（ｉｉ）アラビア数字でない文字又は文字列のみ、の少なくとも何れか一方で表される文字又は文字

列であって、当該数値と同じ値を表す文字又は文字列を示す数値表示文字情報を生成するサーバ生成手段と、
前記数値表示文字情報が生成される毎に、当該数値表示文字情報を前記入力数値表示装置に送信して、前記入力数値表示装置に前記数値表示文字情報が示す文字又は文字列を表示させる送信手段と、
を備えることを特徴とする入力数値表示用サーバ装置。
【請求項１１】
コンピュータが、入力された数値を一桁入力される度に取得するステップと、
前記コンピュータが、前記数値が一桁入力される毎に、前記入力された数値の数値情報に基づいて、（ｉ）アラビア数字と、アラビア数字でない文字又は文字列と、からなる文字列、及び（ｉｉ）アラビア数字でない文字又は文字列のみ、の少なくとも何れか一方で表される文字又は文字列であって、当該数値と同じ値を表す文字又は文字列を示す数値表示文字情報を生成するステップと、
前記コンピュータが、前記数値表示文字情報が生成される毎に、当該数値表示文字情報が示す文字又は文字列を表示する表示領域の表示を更新させるステップと、
を含むことを特徴とする入力数値表示方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上記課題を解決するために、請求項１に記載の入力数値表示プログラムは、コンピュータを、数値の入力を受け付け、入力された数値を一桁入力される度に取得する取得手段、数値が一桁入力される毎に、入力された数値の数値情報に基づいて、（ｉ）アラビア数字と、アラビア数字でない文字又は文字列と、からなる文字列、及び（ｉｉ）アラビア数字でない文字又は文字列のみ、の少なくとも何れか一方で表される文字情報であって、当該数値と同じ値を表す文字情報である数値表示文字情報を生成する生成手段、及び、数値表示文字情報が生成される毎に、当該数値表示文字情報で表される文字又は文字列を表示する表示領域の表示を更新させる表示制御手段、として機能させることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
当該構成により、ユーザの入力操作により入力された数値は、表示領域に、（ｉ）アラビア数字と、アラビア数字でない文字又は文字列と、からなる文字列、及び（ｉｉ）アラビア数字でない文字又は文字列のみ、の少なくとも何れか一方で表される。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
したがって、請求項１に記載の発明によれば、入力操作を行ったユーザは、表示領域における（ｉ）アラビア数字と、アラビア数字でない文字又は文字列と、からなる文字列の表示、及び（ｉｉ）アラビア数字でない文字又は文字列のみの表示、の少なくとも何れか一方の表示から、入力した数値を直観的に把握することができるため、誤入力が見過ごされる可能性を低下させることができる。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
請求項２に記載の入力数値表示プログラムは、請求項１に記載の入力数値表示プログラムであって、生成手段は、アラビア数字と、アラビア数字でない文字又は文字列とからなる文字列を示す数値表示文字情報を生成する場合において、入力された数値の数値情報に基づいて、入力された数値における少なくとも何れかの位を示す、アラビア数字でない文字又は文字列と、当該位における値を示すアラビア数字とからなる文字列を示す数値表示文字情報を生成することを特徴とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
請求項３に記載の入力数値表示プログラムは、請求項２に記載の入力数値表示プログラムであって、コンピュータを、ユーザの使用言語を検出し、当該使用言語を生成手段において生成に用いる言語として設定する言語設定手段として更に機能させ、生成手段は、位を示す文字又は文字列として、設定された使用言語によって当該位を示す文字又は文字列を用いることを特徴とする。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
請求項３に記載の発明によれば、ユーザは、自分が理解できる言語（例えば、母国語）を使用言語として選択することで、アラビア数字でない文字又は文字列で示される位を当該選択した言語で表示させることができる。よって、ユーザが、表示領域に表示された数値を誤解してしまう可能性を低下させることができ、延いては数値を誤入力してしまう可能性も低下させることができる。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
請求項４に記載の入力数値表示プログラムは、請求項３に記載の入力数値表示プログラムであって、生成手段は、使用言語として日本語が設定されている場合に、位を示す文字又は文字列として、当該位を示す漢字を用いることを特徴とする。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
請求項４に記載の発明によれば、日本語を理解することのできるユーザは、使用言語と

して日本語を選択することで、アラビア数字でない文字又は文字列で示される位を漢字で表示させることができる。よって、日本語を理解することのできるユーザが、表示領域に表示された数値を誤解してしまう可能性を低下させることができ、延いては数値を誤入力してしまう可能性も低下させることができる。

【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】

請求項５に記載の入力数値表示プログラムは、請求項１に記載の入力数値表示プログラムであって、コンピュータを、ユーザの使用言語を検出し、当該使用言語を前記生成手段において生成に用いる言語として設定する言語設定手段として更に機能させ、生成手段は、アラビア数字でない文字又は文字列のみで表される文字又は文字列を示す数値表示文字情報を生成する場合において、入力された数値の数値情報に基づいて、設定された使用言語によって当該入力された数値を示す、アラビア数字でない文字又は文字列のみで表される文字又は文字列を示す数値表示文字情報を生成することを特徴とする。

【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】

請求項５に記載の発明によれば、ユーザは、自分が理解できる言語（例えば、母国語）を使用言語として選択することで、表示領域に表示されるアラビア数字でない文字又は文字列を当該選択した言語で表示させることができる。よって、ユーザが、表示領域に表示された数値を誤解してしまう可能性を低下させることができ、延いては数値を誤入力してしまう可能性も低下させることができる。

【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】

請求項６に記載の入力数値表示プログラムは、請求項５に記載の入力数値表示プログラムであって、生成手段は、使用言語として日本語が設定されている場合に、入力された数値を表す文字又は文字列として、漢字によって表される文字又は文字列を用いることを特徴とする。

【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】

請求項６に記載の発明によれば、日本語を理解することのできるユーザは、使用言語として日本語を選択することで、表示領域に表示されるアラビア数字でない文字又は文字列を漢字で表示させることができる。よって、日本語を理解することのできるユーザが、表示領域に表示された数値を誤解してしまう可能性を低下させることができ、延いては数値を誤入力してしまう可能性も低下させることができる。

【手続補正１４】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
請求項７に記載の入力数値表示プログラムは、請求項１乃至請求項６の何れか一項に記載の入力数値表示プログラムであって、数値は、商品の価格、個数、及び重量の少なくとも何れか一つを示すことを特徴とする。
【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
請求項８に記載の入力数値表示プログラムは、請求項１乃至請求項７の何れか一項に記載の入力数値表示プログラムであって、取得手段は、ユーザによる数値を入力する操作を検出することで、数値の入力を受け付け、受け付けられた数値を取得することを特徴とする。
【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２２】
請求項９に記載の入力数値表示装置は、数値の入力を受け付け、入力された数値を一桁入力される度に取得する取得手段と、数値が一桁入力される毎に、入力された数値を表すアラビア数字を表示する第１表示領域の表示を更新させる第１表示制御手段と、数値が一桁入力される毎に、入力された数値の数値情報に基づいて、（ｉ）アラビア数字と、アラビア数字でない文字又は文字列と、からなる文字列、及び（ｉｉ）アラビア数字でない文字又は文字列のみ、の少なくとも何れか一方で表される文字又は文字列であって、当該数値と同じ値を表す文字又は文字列を示す数値表示文字情報を生成する生成手段と、数値表示文字情報が生成される毎に、当該数値表示文字情報が示す文字又は文字列を表示する第２表示領域の表示を更新させる第２表示制御手段と、を備えることを特徴とする。
【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
請求項９に記載の発明によれば、入力操作を行ったユーザは、第１表示領域におけるアラビア数字の表示だけではなく、第２表示領域における（ｉ）アラビア数字と、アラビア数字でない文字又は文字列と、からなる文字列の表示、及び（ｉｉ）アラビア数字でない文字又は文字列のみの表示、の少なくとも何れか一方の表示から、入力した数値を直観的に把握することができるため、誤入力が見過ごされる可能性を低下させることができる。
【手続補正１８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２４】

請求項１０に記載の入力数値表示用サーバ装置は、数値の入力を受け付け、入力された数値を取得する入力数値表示装置が、電気通信回線網を介して接続される入力数値表示用サーバ装置であって、入力数値表示装置から、数値が一桁入力される毎に当該入力数値表示装置が取得した数値を示す数値情報を受信する受信手段と、受信手段が数値情報を受信する毎に、数値情報が示す数値に基づいて、（ｉ）アラビア数字と、アラビア数字でない文字又は文字列と、からなる文字列、及び（ｉｉ）アラビア数字でない文字又は文字列のみ、の少なくとも何れか一方で表される文字又は文字列であって、当該数値と同じ値を表す文字又は文字列を示す数値表示文字情報を生成するサーバ生成手段と、数値表示文字情報が生成される毎に、当該数値表示文字情報を入力数値表示装置に送信して、入力数値表示装置に数値表示文字情報が示す文字又は文字列を表示させる送信手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正１９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２５】
請求項１０に記載の発明によれば、入力数値表示装置において入力操作を行ったユーザは、入力した数値が（ｉ）アラビア数字と、アラビア数字でない文字又は文字列と、からなる文字列の表示、及び（ｉｉ）アラビア数字でない文字又は文字列のみの表示、の少なくとも何れか一方で表示されることから、入力した数値を直観的に把握することができるため、誤入力が見過ごされる可能性を低下させることができる。

【手続補正２０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】
請求項１１に記載の入力数値表示方法は、コンピュータが、入力された数値を一桁入力される度に取得するステップと、コンピュータが、数値が一桁入力される毎に、入力された数値の数値情報に基づいて、（ｉ）アラビア数字と、アラビア数字でない文字又は文字列と、からなる文字列、及び（ｉｉ）アラビア数字でない文字又は文字列のみ、の少なくとも何れか一方で表される文字又は文字列であって、当該数値と同じ値を表す文字又は文字列を示す数値表示文字情報を生成するステップと、コンピュータが、数値表示文字情報が生成される毎に、当該数値表示文字情報が示す文字又は文字列を表示する表示領域の表示を更新させるステップと、を含むことを特徴とする。

【手続補正２１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】
請求項１１に記載の発明によれば、入力操作を行ったユーザは、表示領域における（ｉ）アラビア数字と、アラビア数字でない文字又は文字列と、からなる文字列の表示、及び（ｉｉ）アラビア数字でない文字又は文字列のみの表示、の少なくとも何れか一方の表示から、入力した数値を直観的に把握することができるため、誤入力が見過ごされる可能性を低下させることができる。

【手続補正２２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８

【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２８】
本発明によれば、入力操作を行ったユーザは、表示領域における（ｉ）アラビア数字と、アラビア数字でない文字又は文字列と、からなる文字列の表示、及び（ｉｉ）アラビア数字でない文字又は文字列のみの表示、の少なくとも何れか一方の表示から、入力した数値を直観的に把握することができるため、誤入力が見過ごされる可能性を低下させることができる。